

農くらぶ新聞

編集：農業
クラブ本
部
発行日：
2018年
6月27日

皆さんこんにちは！農業クラブ本部です！
体育祭も無事に終わり、クラスの皆との団結力も高まったのではないのでしょうか。ですが今月は学生の敵とも言える定期テストがあります。今年から定期試験が4回になった平農では今年最初のテストですね！中間テストがないからテストの回数が減ったと喜んでいるそのあなた！テストの回数が減ったということはテスト範囲が広がったということですよ。勉強頑張りましょう！

さて、今号では「第二回県連役員会」についてと「体育祭」、「第一回研究班インタビュー」について書いていきたいと思います。記念すべき一回目の研究班インタビューは「食料生産研究班」です！班長のコメントを書いていきます。

しっかりと最後まで見て下さいね！

第二回県連役員会

五月の二十一日に吉田島高等学校にて、県連役員会を行って頂きましたので、報告をさせていただきます。

今回話し合った議題は、プロジェクト・意見発表の県大会の発表順番決めや、家畜審査競技会や平板測量競技会の実施要綱といった今年の各大会についての話し合いが主でした。それに加えて県大会の後に開かれる総会の係分担についてや、リーダー研修会、関東地区連盟大会などについて話し合い、県連会長による春季代議員会の報告も行われました。

県大会の発表順番は各校の会長さん、副会長さんにこちらで用意した抽選箱からくじを引いてもらい、抽選で決めました。順番は次の通りです。

体育祭

五月三十一日に体育祭を開催しました！天気は残念ながらもりで、とどころ雨が降っていましたが無事に終える事が出来ました。優勝したのは去年も一位だったD組でした。そして開会式では毎年恒例の団長達による大根を齧るパフォーマンスもありました！

体育祭の目玉種目と言ってもいい「応援衣装」は今年も様々な衣装があり、見ているだけでも楽しいものでした。どの団も素敵なダンスで、体育祭までの短い期間、練習を頑張っていたのがよく伝わりとても良かったです。全ての団のダンスの動画がまだ残っているのです。来年の参考にさせていただきます！

私が一番派手だと思ったのは赤組の団長さんの仮装です☆赤い全身タイツで何の仮装かは分かりませんが、とても目立っていました！ユニークな方でした！

来年もまた楽しい体育祭になるよう学校全体で協力していきましょう！



(1)プロジェクト発表

分類	1	2	3	4	5
I類	三浦	吉田島	平塚	中央	相原
II類	平塚	中央	吉田島	三浦	相原
III類	中央	三浦	相原	吉田島	平塚

(2)意見発表

分類	1	2	3	4	5
I類	平塚	相原	中央	三浦	吉田島
II類	三浦	吉田島	中央	相原	平塚
III類	相原	吉田島	三浦	中央	平塚

平農はプロジェクトのI類を除いた全ての発表が一番か最後という結果になりました。会長・副会長のくじ運がなくて申し訳ないです。発表者の皆さんは校内大会で優秀な結果を残し、県大会でも最優秀に選ばれました。頑張ってください！校内大会は今月の二十七日にあり、県大会は七月十二日です。県大会は前日の十一日にリハールがありますので二日間という形になります。県大会を勝ち抜けば山梨で行われる関東地区連盟大会、そして鹿児島での全国大会につながります。

す。参加される皆さんは全員全国を目指して頑張りましょう！

次回の県連役員会は六月二十日に相原高校にて行いましたので、報告は次号とさせていただきます。



第一回！研究班インタビュー☆

記念すべき第一回のドキドキ☆研究班インタビューです！これは、毎号違う研究班を取り上げ、班長さんなどにお話を伺いに行くコーナーになります。第一回目に紹介する研究班は「食料生産研究班」です！

食料生産研究班は、三年生一名、二年生四名、一年生二十四名で活動しています。「何でそんなに一年生が多いんだろう」と思いますがね？実はこの研究班は去年一年間班員がおらず、今年度から活動を再開したのです！班長は食品科学科と思いきや園芸科学科で、他の班員もやはり食品科学科が多いものの、園芸科学科も農業総合科もいます。続きましてインタビューコーナーです！と言っても、今回は書いて

る人と食料生産研究班の班長が同一人物なので、インタビューではないですが…。それはまあ置いておいて、質問コーナーに入ります。

質問（以下質）「食料生産研究班ではどんな活動をしていますか？」

答え（以下答）「食料生産研究班は第一次産業から第二次産業、第三次産業全てを行う六次産業化を推進すべく活動しています。今は平農の畑の隅でひっそりとじゃがいもを育てています。」

質「これからどんな事をしていきますか？」

答「今話に上がっているのは、津久井の特産品である津久井在来大豆という大豆を栽培し、おからクッキーや味噌に加工しようという案が出ています。また、今育てているデストロイヤーというじゃがいもも、収穫した後に加工する予定です。」

皆さんいかがでしたか？今年から始まったこの農くらぶ新聞。これからも皆さんに平塚農業高校の色々な情報をお届けしていきますので是非是非楽しみにしてください！◎